

株式会社群馬銀行 (2019 年グリーンボンド)

契約の種類： アニュアルレビュー

日付： 2021 年 11 月 16 日

担当者：

Kosuke Kanematsu, kosuke.kanematsu@sustainalytics.com, (+81) 3 4571 2343

Marie Toyama, marie.toyama@sustainalytics.com, (+81) 3 4571 2343

はじめに

2019 年 11 月、株式会社群馬銀行（以下、「群馬銀行」）は 再生可能エネルギー、エネルギー効率、クリーンな輸送、及びグリーンビルディングに関連するプロジェクトへのファイナンス又はリファイナンスを目的とするグリーンボンドを発行し（以下、「グリーンボンド」）、その調達資金を 2021 年 9 月 30 日時点で再生可能エネルギー、エネルギー効率、クリーンな輸送に係るプロジェクト合計 174 件に充当しました。2021 年 10 月、群馬銀行はサステナリティクスにグリーンボンドを通して資金の充当を受けたプロジェクトが株式会社群馬銀行グリーンボンドフレームワーク（以下、「フレームワーク」）¹ で設定された資金使途のクライテリアやレポートの指標に合致しているかについて評価を委託しました。本レビューは、2020 年 11 月に行ったサステナリティクスによる群馬銀行のグリーンボンドに対するレビューに続く、2 回目のレビューとなります²。

評価基準

サステナリティクスは、以下の要件について、2019 年 11 月から 2021 年 9 月の間に調達資金の充当を受けたプロジェクトを評価しました。

1. フレームワークで設定された調達資金の使途及び適格クライテリアとの適合
2. フレームワークで設定された各資金使途クライテリアに対する主要業績評価指標（KPI）に関する報告

充当を受けた調達資金の使途のカテゴリーに対する適格クライテリア及び関連する KPI を表 1 に示します。

表 1：調達資金の使途、適格クライテリア及び主要業績評価指標 (KPI)

群馬銀行は、グリーンボンドの発行によって調達した資金を、以下の適格クライテリアを満たす新規および既存の融資または支出に充当することを表明しています。

調達資金の使途	適格クライテリア	KPI
再生可能エネルギー	対象発電設備の資産の賃貸、取得、建設、運転、施設拡張を含む、当該発電事業向け融資 i. 太陽光発電事業（子会社のぐんぎんリース株式会社が行うリース事業に関連する支出を含む） ii. バイオマス発電事業 ※ただし、廃棄物由来のバイオマス資源である発電事業に限定する iii. 水力発電事業 ※ただし、発電容量が 25MW 未満の発電事業に限定する	• 電源別（太陽光 (i)、バイオマス (ii)、水力 (iii)）の CO₂ 削減量 • CO₂ 削減量合計値 (i) + (ii) + (iii)

¹ 株式会社群馬銀行グリーンボンドフレームワーク: <https://www.gunmabank.co.jp/ir/bondinfo/pdf/greenbondwf.pdf>

² サステナリティクスによる群馬銀行のグリーンボンドの前のアニュアルレビューはこちらよりご覧頂けます: https://mstar-sustops-cdn-mainwebsite-s3.s3.amazonaws.com/docs/default-source/spos/the-gunma-bank-ltd.-green-bond-annual-review-japanese.pdf?sfvrsn=b9b2615d_3

エネルギー効率	LED 照明や空調設備の更新、建築物の改修等、エネルギー効率の向上に資する設備導入・改修向けの融資。	CO₂ 削減量
クリーンな輸送	以下の事業または取組みを含む、電気自動車（EV）および燃料電池自動車（FCV）並びにそれを支えるインフラの購入・維持のための融資および支出 i. 群馬銀行で実施する融資 ii. 子会社であるぐんぎんリースにおける自動車リース事業 iii. その他グループ会社において取組む社用車のエコカー導入の推進	CO₂ 削減量

発行体の責任

群馬銀行は、プロジェクトの説明、充当額、プロジェクトによるインパクトを含め、調達資金の充当を受けたプロジェクトの詳細に関する正確な情報及び文書を提供する責任を負います。

独立性と品質管理

投資家に環境・社会・ガバナンス（ESG）とコーポレート・ガバナンスに関する調査・格付けを提供するプロバイダとして業界をけん引するサステナリティクスは、群馬銀行のグリーンボンドによる調達資金の用途を検証しました。本委託業務の一環として、フレームワークとの適合性の確認のため、群馬銀行からの文書の収集及び確認を行いました。

サステナリティクスの調査は、対象プロジェクトに関して群馬銀行から提示された情報と事実に基づいて行われています。群馬銀行が不正確又は不完全なデータを提供したことにより、本文書で示した見解、調査結果、結論が正確性を欠く場合、サステナリティクスはいかなる責任も負いません。

サステナリティクスは、評価プロセスにおいて最高の品質と厳密さを確保するためにあらゆる努力をし、審査結果の評価にあたっては社内サステナビリティ・ボンド・レビュー委員会（Sustainability Bonds Review Committee）が監督を行いました。

結論

限定的保証プロセスに基づき検討した結果³、すべての重要な側面において、群馬銀行のグリーンボンドによる調達資金の充当を受けたプロジェクトが、フレームワークで規定された調達資金の用途及びレポーティングクライテリアに適合しないと判断すべき事実は認められませんでした。群馬銀行は、サステナリティクスに対し、グリーンボンドの調達資金（グリーンボンドの発行諸費用を控除した後の手取金 9,950 百万円）が 2021 年 9 月 30 日時点で全額充当されたことを開示しました。

³ サステナリティクスの限定保証プロセスには、発行体の提供する、調達資金の充当を受けているプロジェクトの詳細に関する文書（プロジェクトの説明、充当額、プロジェクトによるインパクトなど）の調査が含まれます。発行体には正確な情報を提供する責任があります。サステナリティクスはプロジェクトの現地調査は実施していません。

調査結果の詳細

表 2：調査結果の詳細

適格クライテリア	調査手順	調査結果	特定された過失 または例外
資金使途クライテリア	2019 年 11 月から 2021 年 9 月の間にグリーンボンドによる調達資金を充当されたプロジェクトを対象に、フレームワーク及び上の表 1 に示されている資金使途クライテリアとの適合性を検証。	審査したすべてのプロジェクトは資金使途クライテリアに適合していました。	該当なし
レポーティングクライテリア	2019 年 11 月から 2021 年 9 月の間にグリーンボンドによる調達資金を充当されたプロジェクトを対象に、プロジェクトによるインパクトがフレームワーク及び上の表 1 に示されている KPI と適合する形で報告されたかを検証。報告された KPI の一覧は参考資料 2 を参照。	審査したすべてのプロジェクトにおいて、フレームワークで設定された各資金使途クライテリアに対する KPI が報告されていました。	該当なし

参考資料

参考資料 1：グリーンボンドの調達資金の充当状況

調達資金の 使途の カテゴリー	サブ カテゴリー	プロジェ クト数	概要	リファイナンス プロジェクトの ルックバック期間	調達資金の 充当額 (百万円) 4
再生可能 エネルギー	太陽光発電	150	全て太陽光発電事業向 けの融資および支出で あることを確認	該当なし	9,423
再生可能 エネルギー	水力発電	2	全て発電容量が 25MW 未満の水力発電事業向 けの融資であることを 確認	該当なし	457
エネルギー 効率	-	6	全て LED 照明の導入 に関する支出 ⁵ である ことを確認	該当なし	23
クリーンな 輸送	-	16	全て EV の購入のため の融資および支出であ ることを確認	該当なし	45
充当額合計：					9,950
未充当額合計：					0
グリーンボンド手取金：					9,950

⁴ 各カテゴリーへの調達資金の充当額は、百万円未満を切捨てで表示しています。

⁵ 群馬銀行のグリーンボンドフレームワークでは、資金使途の「エネルギー効率」カテゴリーにおいて「融資」を適格クライテリアに設定していますが、サステナリティクスは、調達資金が当該カテゴリーで定められている環境改善効果を生み出すプロジェクトに充当されていることからフレームワークに合致していると考えます。

参考資料 2：プロジェクトのインパクト一覧

調達資金の 使途の カテゴリー	サブ カテゴリー	プロジェクト 数	CO ₂ 排出削減量	
再生可能 エネルギー	太陽光発電	150	4,496 t-CO ₂ /年	合計値 12,548 t-CO ₂ /年
再生可能 エネルギー	水力発電	2	8,052 t-CO ₂ /年	
エネルギー 効率	-	6	47 t-CO ₂ /年	
クリーンな 輸送	-	16	11,680 kg-CO ₂ /年	

免責事項

© Sustainalytics 2021 無断複写・複製・転載を禁ず

本書に包含又は反映されている情報、手法及び意見は、サステイナリティクス及び／又はその第三者供給者の所有物（以下、「第三者データ」）であり、サステイナリティクスが開示した形式及びフォーマットによる場合又は適切な引用及び表示が確保される場合のみ第三者へ提供されます。これらは、情報提供のみを目的として提供されており、（1）製品又はプロジェクトの保証となるものではなく、（2）投資助言、財務助言又は目論見書となるものではなく、（3）有価証券の売買、プロジェクトの選択又は何らかの種類の商取引の実施の提案又は表示と解釈してはならず、（4）発行体の財務業績、金融債務又は信用力の評価を表明するものではなく、（5）いかなる募集開示にも組み込まれておらず、組み込んではありません。

これらは、発行体から提供された情報に基づいたものですので、これらの商品性、完全性、正確性、最新性又は特定目的適合性は保証されていません。情報及びデータは、現状有姿にて提供されており、それらの作成及び公表日時時点のサステイナリティクスの意見を反映しています。サステイナリティクスは、法律に明示的に要求されている場合を除き、いかなる方法であっても、本書に含まれた情報、データ又は意見の使用に起因する損害について一切責任を負いません。第三者の名称又は第三者データへの言及は、かかる第三者に所有権があることを適切に表示するためのものであり、その後援又は推奨を意味するものではありません。当社の第三者データ提供者のリスト及びこれら各者の利用規約は、当社のウェブサイトに掲載されています。詳しくは、<http://www.sustainalytics.com/legal-disclaimers> をご参照ください。

発行体は、自らが確約した内容の確実な遵守とその証明、履行及び監視について全責任を負います。

本書は日本語で作成されました。日本語版と翻訳版との間に矛盾もしくは不一致が生じた場合は日本語版が優先されるものとします。

サステイナリティクス（モーニングスター・カンパニー）

サステイナリティクスは、モーニングスター・カンパニーであり、環境・社会・ガバナンス（ESG）とコーポレート・ガバナンスに関する調査、評価及び分析を行う独立系機関であり、責任投資（RI）戦略の策定と実施について世界中の投資家をサポートしています。ESG 及びコーポレート・ガバナンスに関する情報及び評価を投資プロセスに組み込んでいる、数百に及ぶ世界の主要な資産運用会社や年金基金を支援しています。また、多国籍企業や金融機関、各国政府を含む世界の主要な発行体に、グリーンボンド、ソーシャルボンド、サステナビリティボンドのフレームワークに対する信頼性の高いセカンドパーティ・オピニオンを提供しています。2020 年には、Climate Bonds Initiative により、3 年連続で「気候ボンドのレビューにおける最大の認証機関」に選ばれたほか、Environmental Finance 誌により、2 年連続で「最大の外部レビュー機関」に認定されました。詳しくは、www.sustainalytics.com をご参照ください。

